

## ● 株式情報 (2023年9月30日現在)

### 株式の状況

- 発行可能株式総数 54,800,000株
- 発行済株式の総数 31,256,600株 (うち自己株式1,048,528株)
- 株主数 5,595名

### 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
剰余金の配当 3月31日  
中間配当を行う場合 9月30日  
そのほか必要がある場合は、あらかじめご告知いたします。

- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社

### ■お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。

- 公告方法 電子公告 (<https://www.se-corp.com/ja/ir/koukoku.html>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### ○ご報告：株主優待制度を活用した社会貢献団体への寄付について

2023年3月期においては、選択式の優待品目のひとつとして、昨年同様「緑の募金」を通じた東日本大震災の被災地復興に向けた「使途限定募金」の寄付を設定いたしました。

その結果、多くの株主様の善意により**合計金額 43万3千円**が集まりましたので、公益社団法人国土緑化推進機構に全額寄付させていただきます。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

### ホームページのご案内

詳細なIR情報や会社概要等については、当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.se-corp.com>

## ● 会社情報 (2023年9月30日現在)

商号 株式会社エスイー  
所在地 〒163-1343  
東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 (新宿アイランドタワー)  
創設 1967 (昭和42) 年8月  
立 1981 (昭和56) 年12月  
資本金 12億2,805万円  
従業員数 単体188名、連結535名  
グループ事業内容 1.建設用資機材の製造・販売  
・ケーブル製品分野  
・鉄鋼製品分野  
・コンクリート製品分野  
2.建築用資材の製造・販売  
・建築金物分野  
・鉄骨工事分野  
3.建設コンサルタント  
4.補修・補強工事  
5.その他

関係会社 (株)アンジェロセック (連結)  
A&Kホンシュウ(株) (連結)  
(株)北都運輸 (連結)  
エスイーリペア(株) (連結)  
(株)ランドプラン (連結)  
エスイー鉄建(株) (連結)  
(有)日越建設コンサルタント (VJEC) (非連結、ベトナム)  
協力会社 アンジェロップ (フランス)

### 役員 (2023年10月31日現在)

#### ■取締役・監査役

代表取締役会長 執行役員会長 森宮 元原 峯 夫  
代表取締役社長 執行役員社長 宮 原 一 郎  
取締役 執行役員副社長 申 田 信 行  
取締役 常務執行役員 野 島 久  
取締役 執行役員 滝 沢 真 真  
取締役 執行役員 小 市 佐  
取締役 執行役員 岡 平 俊  
取締役 (社外取締役) 野 山 尚  
取締役 (社外取締役) 杉 浩  
監査役 (常勤) 澤 喜  
監査役 (社外監査役) 菅 雅  
監査役 (社外監査役) 寺 石

#### ■執行役員 (取締役を兼任するものを除く)

執行役員 村 賢  
執行役員 中 石 隆  
執行役員 河 水 野  
執行役員 津 家 田  
執行役員 水 竹 家 文  
執行役員 齋 藤 宏  
執行役員 大 明 嶽 健  
執行役員 昌 英

**SEC** 株式会社 エスイー  
<https://www.se-corp.com>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

SEC

株式会社エスイー

証券コード：3423

# 株主通信

第**43**期第2四半期

2023年4月1日～2023年9月30日

Engineering With You.

### 決算概要

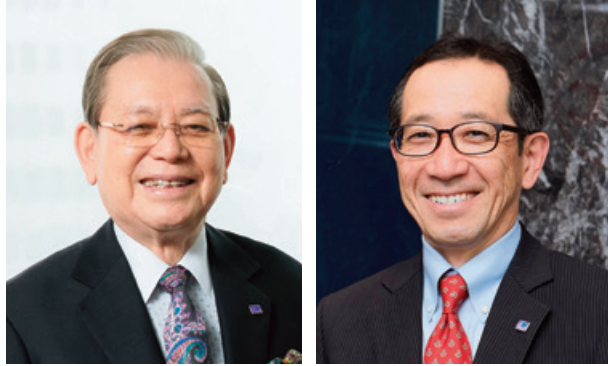
2023年度第2四半期  
決算ハイライト  
～増収増益

### 年間業績予想

進捗良好、業績予想は不変

### 中期経営計画の進捗状況

施策確行のためのプロ  
ジェクト立上げ  
(一部は社外と連携)



代表取締役会長  
森元 峯夫

代表取締役社長  
宮原 一郎

株主の皆様には平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年4月～9月の日本及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症による影響から経済活動が回復に向かいました。一方、資源価格や原材料価格の高騰、物価の上昇、ドル高が顕著になり、各国当局の政策にかかわらずインフレ鎮静化が見通せない等、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、これらの背景の1つとなっている地政学リスクは、ウクライナ情勢の長期化に中東情勢も加わる

など、大きく高まる兆しを見せております。

エスイーグループと関連の深い国内の建築・土木市場においては、官公庁工事は国土強靱化等の追い風があり高水準を継続しており、また民間設備投資の回復も見えてきました。

2024年3月期第2四半期連結累計期間の売上高は123億95百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益5億15百万円（前年同期比7.0%増）と前年同期比増収増益となりました。建設用資機材分野において耐震金物が好調であったこと、建築用資材分野において市場の回復基調を大幅な増収につなげることが出来たことが主因と見ております。また、2024年3月期の業績予想に対しては、一部海外関連で不芳なもの、連結ベースでは順調な進捗と見ております。

2023年4月よりスタートしました「中期経営計画2023 - 2025」では、既存事業の土台固めや戦略的資源投入など各種施策の推進に精力的に取り組みました。まだ具体的な成果に言及できる段階にはございませんが、これら施策により2030年度に向けたエスイーグループの持続的成長と企業価値の向上をより確実に図れるものと考えております。

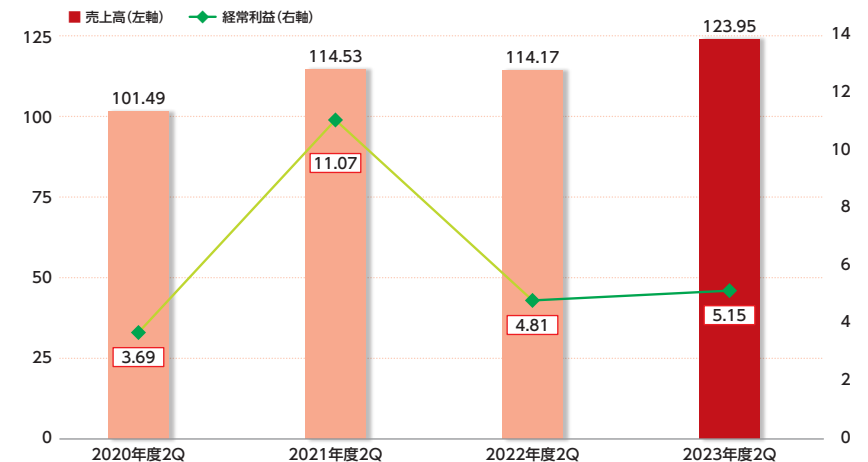
株主の皆様には、今後ともエスイーグループに対するご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ◆決算概要 ～増収増益～

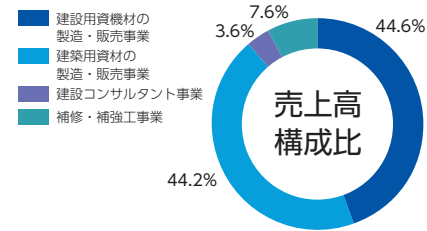
- 売上高は、下記要因により前年同期比+977百万円の増収。
  - ・建設用資機材の製造・販売事業において、鉄鋼製品分野の耐震金物の物件が増加。
  - ・建築用資材の製造・販売事業において、鉄骨工事分野の大型物件の納入が好調、建築金物分野の大型都市開発物件を中心とした工事が順調に推移したこと。
- 利益面では、建築用資材の増収効果及び補修・補強工事業の増工分により経常利益で前年同期比+33百万円の増益。

	2023年度第2四半期連結累計期間	前年同期比
連結売上高	123億95百万円	+977百万円
連結営業利益	5億20百万円	+45百万円
連結経常利益	5億15百万円	+33百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3億8百万円	+43百万円

第2四半期連結累計期間の推移 (単位：億円)



エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。



### 建設用資機材の製造・販売事業

コンクリート製品分野は苦戦するも、鉄鋼製品分野の耐震金物の物件が増加。原材料価格上昇分の販売価格転嫁も進捗。

	売上高	営業利益
前第2四半期	53.3 億円	2.7 億円
当第2四半期	55.2 億円	2.8 億円

### 建築用資材の製造・販売事業

建築金物分野の仮設建材は首都圏の都市再開発の工事が順調に進捗、鉄骨工事分野も大型物件の納入が好調かつ短納期物件が増加。

	売上高	営業利益
前第2四半期	47.0 億円	3.1 億円
当第2四半期	54.7 億円	3.6 億円

### 建設コンサルタント事業

受注している大型案件が順調に進捗したが、設計原価にかかる外注費が増加。

	売上高	営業利益
前第2四半期	3.6 億円	0.15 億円
当第2四半期	4.5 億円	0.08 億円

### 補修・補強工事業

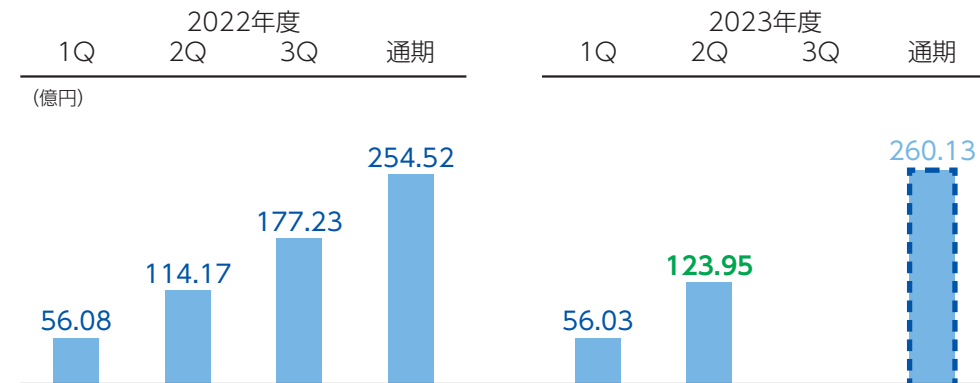
良好な受注環境が継続しているが、工事中の案件で設計見直しが発生し、工程が遅延。予定通り進捗している工事の中で増額や利益率改善等に注力。

	売上高	営業利益
前第2四半期	10.1 億円	0.7 億円
当第2四半期	9.4 億円	0.9 億円

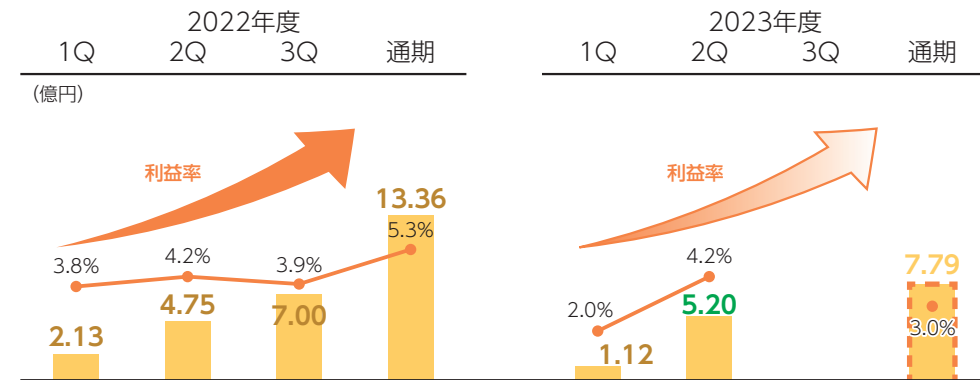
2024年3月期の業績予想は、2023年5月12日公表の売上高260億円、営業利益7.79億円より変更なし

- 売上高は、従来より良好な受注環境である土木製品に加え、民間建築分野の回復が顕著で全体として順調な進捗。
- 利益面では、前年同期比でも順調な進捗。研究開発費等一部の経費が下期にずれ込んでいることや中東情勢の影響等の下振れ要因はあるが、公表予想値は十分見通せる状況。

### 売上高 (累計)



### 営業利益 (累計) ・ 営業利益率



### 中期経営計画の主な施策

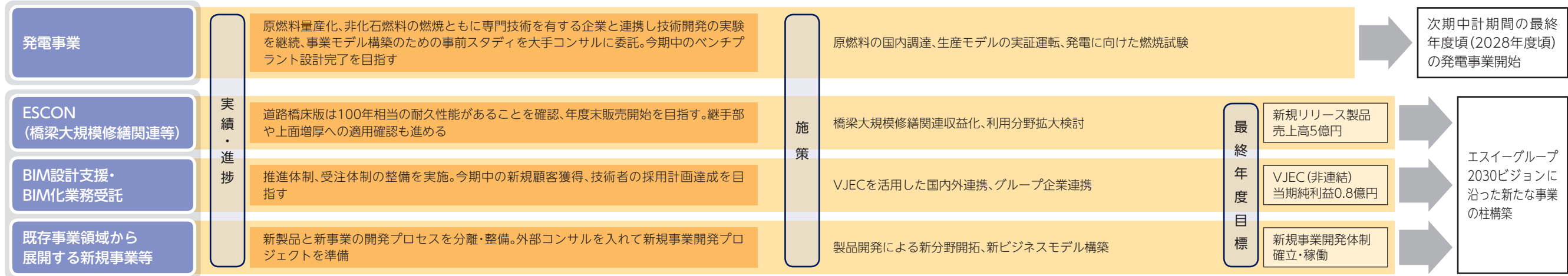
- ・専門部署以外はプロジェクト形式で組織横断的に推進
- ・コンサル等外部の知見を積極的に活用



財務	2023年度		2023年度	2024年度	2025年度
	～第2四半期 (実績)		(予想)	(計画)	(計画)
連結売上高	(百万円)	12,395	26,013	26,660	28,500
連結経常利益	(百万円)	515	800	920	1,205

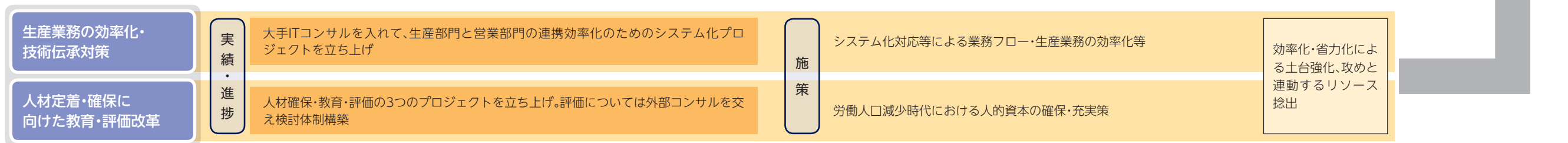
### 社会課題(サステナビリティ課題)解決=機会 → サステナビリティ施策A

未来に向けた種まき



### 自社のサステナビリティ課題の解決 → サステナビリティ施策B

既存事業の土台固め



中期経営計画の進捗状況